



# 京ヶ峰の四季

第43号

2013年夏号



芳精倶楽部会館から望む京ヶ峰

当院は、昭和13年4月に現院長の父上により、岡崎市康生町に有床診療所「岡田医院」として開設されてから、今年で75年になります。

その後、昭和26年に岡崎市羽根町に精神科・神経科「岡田病院」として移転、昭和43年には、現在地へ精神科・神経科・内科・歯科「京ヶ峰岡田病院」として移転開院しました。この間、昭和33年に先代院長が急逝され、現院長が病院を引継がれました。

このように歴史ある病院へ、私は昭和43年3月にPSWとして入職し、京ヶ峰岡田病院とともに、人生を歩んで参りました。昭和57年に前事務長が体調を崩されて退職されることになり、その後任として事務長職を引継ぐことになりました。全く畑違いの事務長職でありましたが、院長はじめ、多くの方々のご指導を受けながら何とか過ごして行くことができました。

振り返ってみますと、厚労省による精神科医療の方向性がはっきりせず、その時々厚労省の誘導策に振り回されてきたような気がします。厚労省の政策・方針の根底には、いかにして医療費を抑制するかが見え隠れし、真に患者さまのためを考えているかどうか、はなはだ疑問に感じているのは私だけでしょうか。

そういった中、院長を中心として、患者さまに少しでも喜ばれるようにと病院を整備して参りました。限られた予算での整備であり、不十分な部分もありますが、その時々で精一杯の整備をしてきました。

昨年、院長の決断で、外来部門・検査部門の充実と、精神科救急病棟の新設のため、本館の新築を行いました。厳しい経済状況の中、何とかやりくりして整備させていただきました。利用される皆さまに喜んでいただければと思っております。

京ヶ峰岡田病院  
事務長 安立 充史

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために  
～ For the Patients ～



# 精神医療保健福祉情報

## 患者さま満足度調査報告

京ヶ峰岡田病院は、毎年満足度調査を実施してきました。今回は調査項目を一部変更し、外来では「職員の対応」「待ち時間」「病院の雰囲気」を加え、入院では、待ち時間を除き、「入浴」「食事」「面会」などを加えました。また、平成24年9月に病院の新築・改修を終え、ハード面を整えて10月に救急病棟を含めた病棟再編を行い、新たにスタートしました。



当院に求められることは、職員の思いだけでは一方通行になりがちなソフト面の充実と考えています。そこで、当院を利用される患者さま、そのご家族、入院患者さまの思いを知ることはじめて、正しい評価と言えます。このことから、項目を見直し、「職員からの挨拶はあるか」「言葉遣い・対応はよいか」「症状に関する訴えを聞いてくれるか」「依頼したら実行してくれるか」「症状・治療・検査の説明はどうか」など、ソフト面をより具体的な質問項目とし、調査結果から我々職員が今後改善する点をより明確にしました。

その結果、全体的には「良い」「普通」「悪い」の三段階評価の「良い」「普通」で95%でした。しかし、外来における「待ち時間」は、満足度が70%と落ち込んでいます。これまでの調査結果は60%で、電子カルテの導入・広い外来空間が満足度を10%上昇させたとも言えますが、今後も重要な課題と考えています。



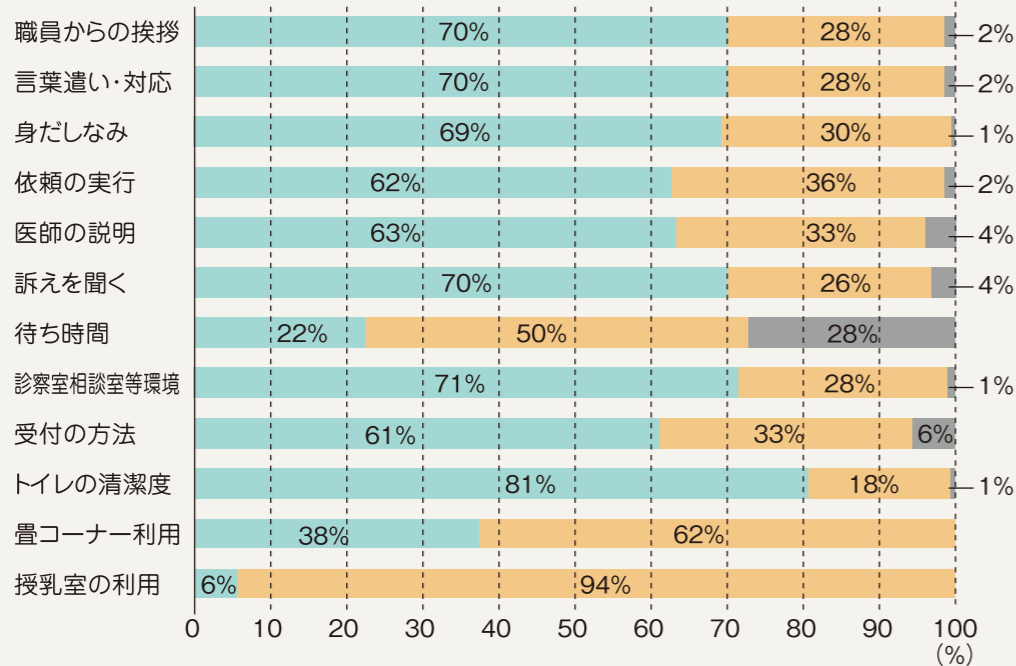
入院においては、急性期の病棟に「症状に関する訴えを聞いてくれるか」「症状・治療・検査の説明はどうか」の項目に限って満足度が60%と低い評価になっています。このことは、入院当初に密度の高い医療・看護が求められていることを示していると考えられます。

このように、我々は満足度調査によって、今必要なサービスとは何かを知ることができました。今回出た結果を基に、今後も当院の医療・看護の充実を図っていきたいと考えています。

### 患者さま満足度調査結果【外来】

- 調査期間：平成25年4月15日(月)～20日(土)
- 配布数：471人 回収数：男166人 女190人 不明61人 回収率：88%

■ 良い ■ 普通 ■ 悪い



# 病院TOPICS

## 開院75周年記念 第8回 京ヶ峰倶楽部展

開院75周年記念 第8回 京ヶ峰倶楽部展を開催いたしました。

平成25年6月26日(水)～30日(日)の期間に岡崎市明大寺町にある岡崎市美術館で開催しました。今年のテーマ『伸びる』にちなんだ色々なものが展示されました。個人から団体作品まで応募総数は約200点余りとなり、今年は650名の方々に来ていただきました。



力作をじっくり鑑賞される来場者



栄養士から



## 「季節のおすすめ」

だんだんと気温が上がってきました。梅雨の時期に暑い日涼しい日を繰り返し、いよいよ夏本番。今年は夏が長いと随所で耳にしますが、暑い日が続くとならなければいけないものの一つが夏バテです。

夏バテは、体がだるく疲れやすい・食欲不振といった症状だけでなく、それによる免疫力の低下で夏風邪にかかることもあります。

原因として考えられることは、室内外の急激な温度差に体がついていけなくなり、自律神経のバランスが崩れること、暑いからと冷たいものを口にするが増え、胃腸が冷えて消化する力が弱まり食欲不振になる、などがあげられます。

予防するには、冷房などで体を冷やしすぎない、冷たいものを摂りすぎない、そして体をしっかり休めることが大切です。

栄養面では、良質なたんぱく質・ビタミン・ミネラルが不足しがちになりますので

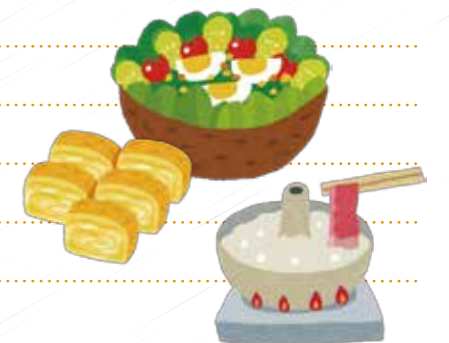
意識的に摂るようにしましょう。ゴーヤチャンプルーや豚しゃぶ、レバニラ

炒めなども良いですし、梅干や香辛料を使った料理なども食欲増進になり

オススメです。そうめんだけで済ませず、納豆や卵焼きを添えたり、ビタミン

たっぷりの野菜を使ってサラダ風にするのはいかがでしょうか。バランス良く

しっかり食べて健康に過ごしたいですね。



# 行事報告



## 「三河地区有志病院スポーツ大会 ビーチボールバレー大会」

平成25年4月26日(金)刈谷病院にて  
13名が参加し、  
決勝まで進んで接戦を繰り広げました。



## 「希望会ソフトボール大会」

平成25年5月14日(火)口論義運動公園(日進市)にて  
一回戦では8対5と勝利し、  
二回戦目で惜しくも負けてしまいました。



## 「開院75周年記念院内パターゴルフ大会」

平成25年6月4日(火)院内葵病棟前庭にて  
約180名の方が選手や応援で参加され、  
カップに向かう赤・緑・黄色のゴルフボールの  
行く末に注目しました。



## 「希望会卓球大会」

平成25年6月14日(金)  
中村スポーツセンター(名古屋市)にて  
当院からは男子個人の部で6名参加し、  
ベスト8まで進出しました。



## 「第3回デイケア家族懇談会」

平成25年6月22日(土)  
院内デイナイトケアセンター「スマイル」にて  
当日は41家族47名の参加者で、デイケアスタッフによる  
説明や見学、岡田副院長から「精神疾患とそこかわり方  
について」をテーマに講話がありました。アンケートでは、  
定期的開催をして欲しいという声が多かったです。



## 「南病棟行事食」

平成25年3月23日(土)



## 「葵3病棟行事食」

平成25年5月14日(火)

## おすすめコーナー

「行列のできる法律相談所」  
でも紹介された

## 百田尚樹さんの著書『モンスター』

「行列のできる法律相談所」でも紹介された百田尚樹さんの著書、『モンスター』を紹介します。

田舎町でレストランを営む絶世の美女、美帆。彼女は店を経営しながらある男を待っていた。美帆はかつて奇形的に醜い顔で生まれた少女、和子であった。美容整形に目覚め完璧な美人へと変貌を遂げた彼女は、故郷の町に別人として戻って来たのである。思春期に同じ町に住む少年に恋をし、その想いが今も彼女を狂わせていく—  
初めの方を読んでいると同じ事ばかり言っていてくどいと思いましたが、最後まで読むと何か心に残る小説です。  
高岡早紀さん主演で映画化もされています。ぜひご一読ください。

※次回の担当は看護部の角谷(弘)さんです。よろしくお願ひします。

栄養部 畔柳



## ●編集後記

本格的な暑さを迎え、夏バテしていませんか?クーラー頼りで外へ出られなくなりがちですが、この時期だからこそ味わえる楽しみ方を見つけないですかね。夏祭りに出かけたり、避暑地巡り等々…。ちなみに私は7月生まれのせい、夏は好きな季節です。皆さんも熱中症対策をして、汗を流しながら夏を満喫しましょう。

広報委員 角谷